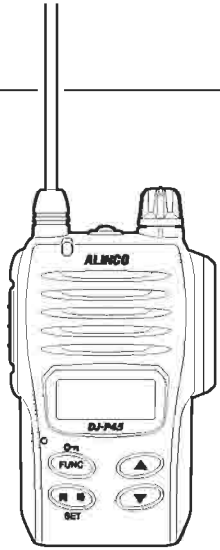
ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-P45
取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番21号 八重洲セントラルビル4階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0622
FNEN-NE

使用前のご注意

■ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺など）

日本国内でのみ使用してください。

This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離（同時通話10mW時）
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。（交互通話では同時通話に比べ、通話距離が2割程度長くなります。また、送信出力「Lo」のときは通信距離は半分以下となります。）
・海上、山頂など条件のよい所：1kmまたはそれ以上
・河原など障害物のない平地：500m程度
・見通しのよい道、郊外の住宅地：300m程度
・市街地のような障害物の多い所：100m程度

■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや構脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■防水性能について
付属の乾電池ケースは防水構造ではありません。オプションのリチウムイオンバッテリーパック(EBP-77/EBP-78)をトランシーバー本体に装着することで、JIS IPX7（防浸形）相当の防水性能になります。ただし、ウォータースポーツなど常に激しい水しぶきがかかる環境や、海水がかかる環境での使用で発生する塩害については保証しておりません。オプションの変換アダプターを装着したときには防水性がなくなりますのでご注意ください。また、すべての製品を出荷前に防水検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。
濡れたあとは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。
弊社では防水性についても製品と同じ保証期間ですのでご了承ください。
注）上記以外のオプションについては、防水性能を保証していません。

■バッテリーセーブについて
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

注意
・3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。
・同時通話モードのb12～b29で送信出力「Lo」の場合、3分制限は解除され連続送信が可能になります。b12～b29のみ初期値は「Lo」に設定されています。
・同時通話モードのb12～b29以外のチャンネルは、送信出力「Lo」に設定できません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

交互通話モード時、一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。
受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

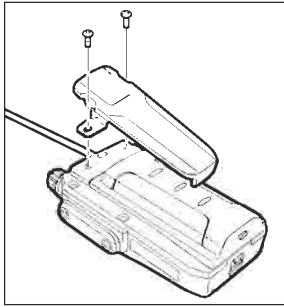
付属品をご確認ください

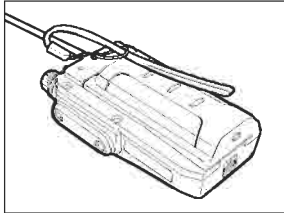
□乾電池ケース
□ハンドストラップ
□保証書
□ベルトクリップ（ネジ2本）
□取扱説明書（本紙）

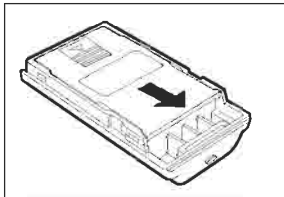
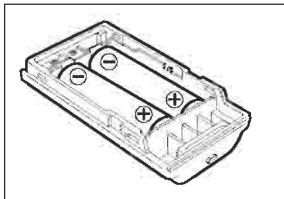
注意
・保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
・**乾電池ケースは防水構造ではありません。**

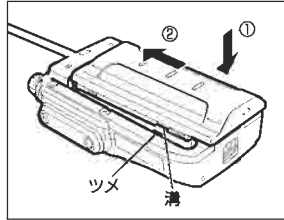
ベルトクリップの取り付け

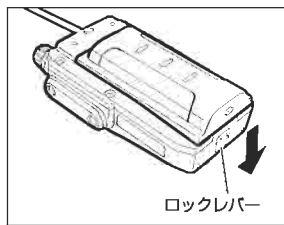
ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。

注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品として販売していますので、お求めの際は販売店にご相談ください。
ベルトクリップユニット：EBC-27
（ベルトクリップ1個、ネジ2本）

ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

乾電池の入れ方

①乾電池ケースのカバーをスライドさせて取り外します。
②単三形乾電池をケース内側の[+]、[−]の表示にしたがってセットします。
③ツメを合わせてカバーをスライドさせます。きちんと閉まっていることを確認してください。

注意
・**乾電池に関するご注意**
乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。
1.使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
2.2本とも同じ種類の乾電池を使用する。
3.分解、加熱、充電しない。
4.長期間使用しないときは、乾電池ケースをトランシーバー本体から外しておく。

乾電池ケースの取り付け方

乾電池ケースの溝を本体のツメに合わせて矢印の方向に押し込みます。ロックレバーがきちんと閉まっていることを確認してください。

乾電池ケースの取り外し方

ロックレバーを矢印の方向にスライドし、乾電池ケースを取り外します。

バッテリーパックおよび充電器（オプション）

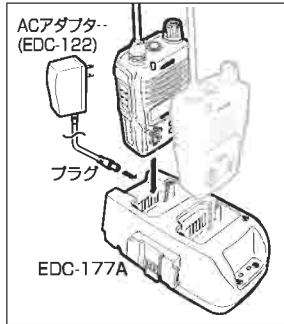
バッテリーパック、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

●リチウムイオンバッテリーパック
：EBP-77（3.7V 1000mAh）
●リチウムイオンバッテリーパック 大容量タイプ
：EBP-78（3.7V 1800mAh）
●ツイン充電器セット：EDC-177A
●連結充電スタンド：EDC-177R
●ACアダプター：EDC-122
●連結用ACアダプター：EDC-162

バッテリーパックは出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
充電器（EDC-177A/177R）を使用して、空のリチウムイオンバッテリーパックEBP-77/EBP-78を満充電するのに要する時間は約2.5時間/約4時間です。

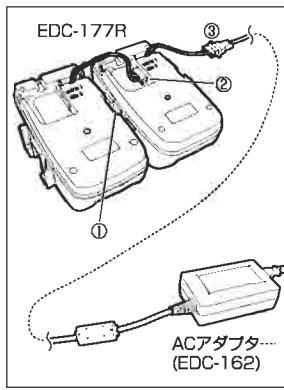
・電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わない可能性があり、故障の原因となりますので市販の充電池は絶対に使用しないでください。
・弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。

ツイン充電器セット（EDC-177A）の使用方法

①トランシーバーにリチウムイオンバッテリーパック（EBP-77またはEBP-78）を装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
1台のみ、または2台同時に充電可能です。
⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

メモ トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。

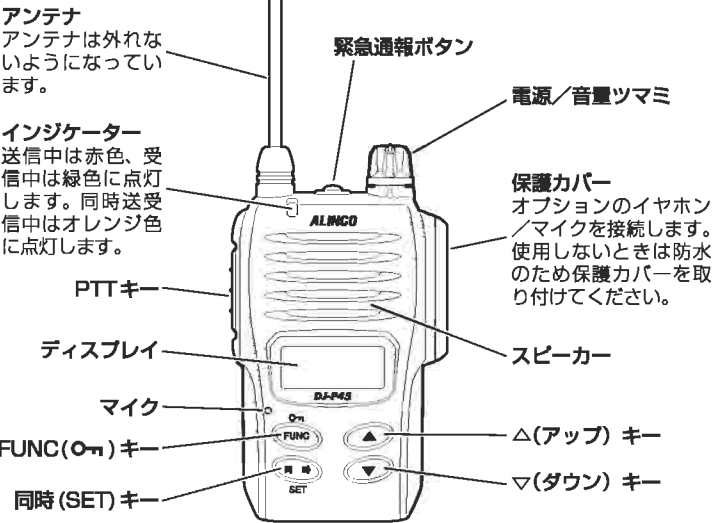
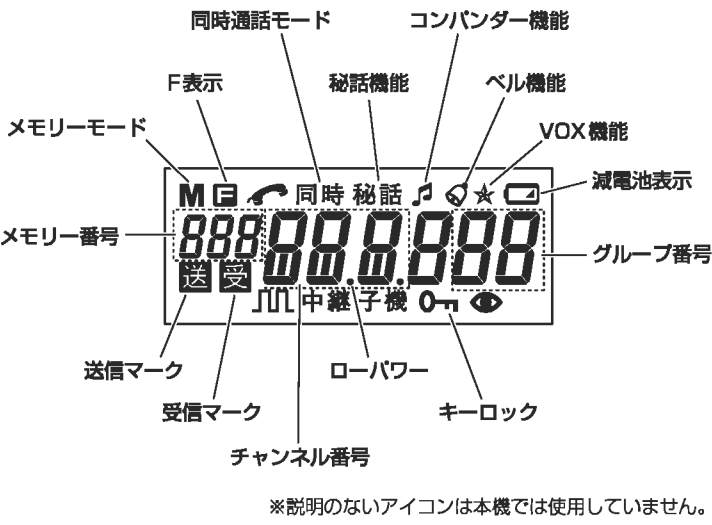
連結充電スタンド（EDC-177R）の使用方法

連結充電スタンド（EDC-177R）を使用して連結充電するときは、必ず連結用ACアダプター（EDC-162）が必要です。
最大で4台連結し、トランシーバーを8台同時に充電することができます。

①充電スタンドどうしを連結します。ロックレバーが固定されていることを確認してください。
②充電スタンド裏面のコネクタを接続します。
③連結用ACアダプターのコネクタを、端の充電スタンドのコネクタに接続します。
④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑤トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

メモ 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

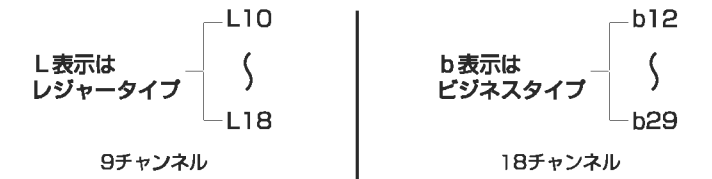
注意
・トランシーバーを前方のポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、後方のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、あるいはその逆の動作をすることがあります。充電開始を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
・バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。端子がショートすると、大電流が流れて火傷や火事を引き起こす危険性があります。
・トランシーバーに装着した状態でうまく充電できない場合は、バッテリーパック単体で充電してみてください。

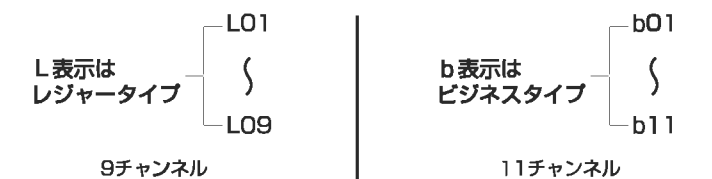
各部の名前とはたらき

前面部

ディスプレイ

※説明のないアイコンは本機では使用していません。

チャンネル表示について

●同時通話モード

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

●交互通話モード

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ（9チャンネル機）と通信できます。

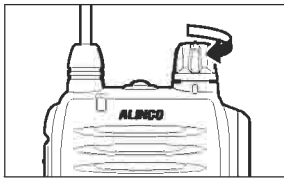
b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ（11チャンネル機）と通信できます。

基本操作

同時通話モード

工場出荷（初期）状態で電源を入れると、同時通話モードになります。
同時通話モードでの運用は原理上、ハウリングが発生しますので外部イヤホン／マイクをご使用ください。

電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して同時通話用のL10～18、b12～29を選択します。
相手機と同じチャンネルに合わせます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

メモ b12～b29は送信出力が初期値「Lo」で、連続送信が可能です。送信出力を「Hi」にするには、セットモード「Pow」で「Hi」を選択してください。

グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながら▽または△キーを押して相手機と同じグループ番号に合わせます。

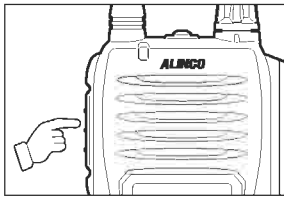
メモ 同時通話モードでは自動的にグループトーク機能が設定されます。

注意 ・同時通話モードのグループトーク機能は、設定により解除することはできません。
・同時通話モードは原理上、他社トランシーバーと通話することができません。

受信する

信号を受信するとインジケーターが緑色に点灯し、グループ番号が一致するとスピーカーから相手の声が聞こえます。

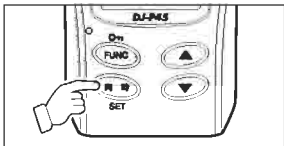
送信する

[PTT]キーを押します。
→インジケーターがオレンジ色または赤色に点灯します。
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。
[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

メモ セットモード「AFLooP」で「ON」を選択することにより、第三者が会話を聞くことができます。

交互通話モード

最も基本的な交互通話（単信）モードです。周波数構成が同じであれば、他の特定小電力トランシーバーと通信することができます。

モードを切り替える

[同時]キーを押す。

メモ [同時]キーを押すごとに、同時通話モード／交互通話モードが切り替わります。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して交互通話チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。

送信する

信号を受信していないことを確認してから、[PTT]キーを押します。
→インジケーターが赤色に点灯します。
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

コールトーン機能

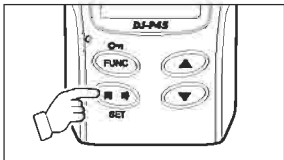
送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り、相手を呼び出すことができます。▽と△キーでは音色が異なります。

注意 ビープ音をOFFにしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

[同時]キーを2秒以上押す

→グループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

メモ グループ番号は01～50の中から選択できます。

1 L05-01

送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

緊急通報機能

簡易的な緊急通報装置として使用する機能です。相手機にアラーム音で知らせます。交互通話モードのみで有効です。

交互通話モードに設定する

[同時]キーを押して交互通話モードに設定します。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押してチャンネルを合わせます。

緊急通報ボタンを3秒以上押す

緊急信号を10秒間送信します。相手機からアラーム音が鳴ります。

セットモード「EmG」（緊急通報）
ON1:相手機のみアラーム音が鳴ります。
ON2:通報機、相手機共にアラーム音が鳴ります。
ON3:通報機のみアラーム音が鳴り、送信しません。

キーロック（2タイプ）

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

簡易キーロック（LoC-1）

[FUNC]キーを約2秒押します。
→「LoC-1」が点滅したあと「O-ㅠ」が点灯します。

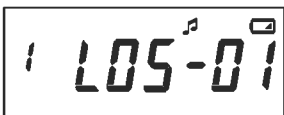
解除するには同じキー操作をします。

通常キーロック（LoC-2）

[FUNC]キーと[同時]キーを同時に約2秒押します。
→「LoC-2」が点滅したあと「O-ㅠ」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

減電池表示

電池の残量が少なくなると「▭」が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。
さらに残量が少なくなると「▭」が点滅します。
点滅したら新しい電池と交換するかバッテリーを充電してください。

メモ 「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換してください。

簡易リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

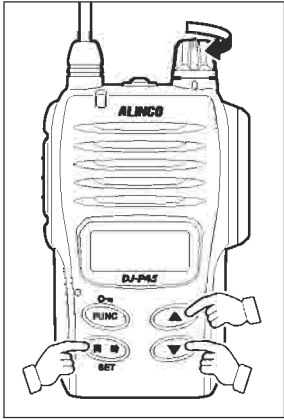
[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。
→工場出荷状態のL10チャンネルになります。

メモ 簡易リセットでは登録済みメモリー内容、一部の設定済み内容は保存されます。

完全リセット

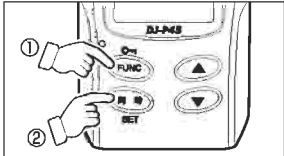
工場出荷時の状態に戻します。

[同時]、[▽]、[△]3つのキーを押しながら電源を入れます。

注意 完全リセットでは登録済みメモリー内容は消去され、すべての設定済み内容は工場出荷時の状態に戻ります。

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

①[FUNC]キーを押します。
→ F が点灯します。
② F 点灯中に[同時]キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
③[同時]キーを押すごとに項目が切り替わります。
→[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
④▽または△キーを押して設定値を変更します。
⑤[PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bAt	電池選択（アルカリ／リチウムイオン）	AL／Li	AL
ComPnd	コンパンダー（雑音低減）	OFF／ON	ON
vo	VOX（音声検出自動送信）	OFF／Lo／Hi	OFF
ScrbLE	秘話	OFF／ON	OFF
Pow	b12～b29 連続送信（ローパワー）	Lo／Hi	Lo
bEEP	ビープ音量	0～5	2
EndP	エンドビー（送信終了音）	OFF／ON	ON
bELL	ベル（呼び出しお知らせ）	OFF／ON	OFF
LAmP	ランプ	OFF／5秒／ON	5秒
AFLooP	ループ（第三者可聴）	OFF／ON	OFF
PttHLd	PTT ホールド（送信保持）	OFF／ON	OFF
Ptt	PTT オンオフ（送信禁止）	OFF／ON	ON
EmG	エマージェンシー（緊急通報）	ON1／ON2／ON3	ON1

その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

メモリーモード

あらかじめ登録しておいたチャンネルを呼び出して運用するモードです。登録できる数は、0～9、A、bの12個です。

デュアルオペレーションモード

メイン／サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

メモ 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。バッテリーパックを充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
	相手と距離が離れすぎている。	通信可能距離を目安に近づいてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	通信制限時間を超過している。	[PTT]キーを離し2秒たってから送信してください。
	PTTオン／オフ設定機能がOFFになっている。	セットモードでPTTオン／オフ設定機能をONにしてください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

処置を施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池と交換するかバッテリーを充電してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

[★]印のものは、トランシーバー本体に装着することでIPX7（防浸形）相当の防水性能に適合します。

EBP-77 リチウムイオンバッテリーパック★
EBP-78 リチウムイオンバッテリーパック（大容量タイプ）★
EDC-177A ツイン充電器セット
EDC-177R 連結ツイン充電スタンド
EDC-122 AC アダプター
EDC-162 連結充電用大容量 AC アダプター
EMS-63 (※1) スピーカーマイク
EME-40A (※2) ヘルメット用ヘッドセット
EME-41A イヤホンマイク（業務仕様）
EME-43A 咽喉イヤホンマイク
EME-45A VOX 付きヘッドセット（ヘッドホンタイプ）
ESC-52 ソフトケース
ESC-53 ハードケース
EDH-37 乾電池ケース（スペア）
EDS-16 (※3) 変換アダプター

(※1) スピーカーマイクは、PTT ホールド機能、VOX 機能が使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。
(※3) 従来のオプション（2ピンタイプのイヤホンマイク／シガーライターケーブルなど）を使用するには、変換アダプター (EDS-16) が必要です。

定格

項目		
送受信周波数	レジャーチャンネル	421.7875～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz
		440.2625～440.3625MHz
	ビジネスチャンネル	421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz
電波形式	F3E（FM）／F1D（FSK）	
送信出力	10mW／1mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBu（12dB SINAD）	
中間周波数	1st IF 21.7MHz／2nd IF 450KHz	
音声出力	100mW以上	
通信方式	単信方式／複信方式	
定格電圧	DC3.0～3.7V	
動作温度範囲	-10～+50℃	
寸法	55(W)×97.5(H)×35(D)mm（突起物除く）	
重量	約195g（単三形乾電池2本含む）	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。